



発行所  
 財団法人 漁船海難遺児育英会  
 〒101-0047 東京都千代田区  
 内神田2丁目2番1号  
 鎌倉河岸ビル4階  
 電話 03 (3256) 1981  
 FAX 03 (3256) 1982  
 水色の羽根募金運動



財団法人 漁船海難遺児育英会  
 理事長 鈴木善孝

# 「漁船海難遺児育英会」 設立三十周年を迎えて

本育英会は、来る十月二十九日設立三十周年を迎えることとなりました。昭和四十年、マリアナ諸島アグリガ海域において、台風により一挙にかつお釣りの漁船乗組員二〇九名の犠牲者を出した海難事故を契機に、従来、地域に行われていた「漁船海難遺児を励ます運動」が全国的に拡がり、水産業界全体の総意により、漁業に従事中の父親を亡くした遺児を精神的・経済的に励ますことを目的として「漁船海難遺児を励ます全国協議会」が設立されました。この運動を具体的に推進するため、昭和四十五年十月二十九日、文部・農林大臣の認可を得て、本育英会が設立されました。

当初は、せめて給食費程度でもと、小・中学生に対する学資給付制度からスタートしましたが、漁協システムを中心として多くの方々のご理解と温かいご協力により、これまで八期に及ぶ「漁船海難遺児育英会募金運動」を実施し、基金の造成に努めつつ、育英事業制度の改善及び事業水準の充実を図って参りました。

お陰様をもちまして、本育英会二十周年を迎えた平成二年度には大学生等に対する奨学金貸与制度を開始し、幼稚園児から大学生までの一貫した育英

制度が整備されました。更に、平成六年度からは奨学金貸与制度と併行して母親をはじめ関係者の長年の念願でありました高校生等に対する学資給付制度を導入することができました。

この間、延べ六万名弱、一万名に近い遺児に対して、就学に必要な経費を援助し、励まして参りました。これも偏に、この育英事業に対する関係者の皆様方の深いご理解と温かいご支援の賜物と衷心より深く感謝申し上げます。

幸い、海難事故は減少傾向にありますが、依然として毎年五〇名近い子供さんが新たに奨学生として採用されており、お母さんご家庭に負担が重なり、悲しい思いをする家庭がこれ以上増えないように、従来の海難事故防止に対する漁業者をはじめ関係者のご努力に敬意を表するとともに、尚一層のご努力をお願いするものであります。

本育英会の十周年、二十周年の際には記念式典を開催致しましたが、本年度これにかえて、「育英会だより」の前号でお知らせ致しましたように、学資給付事業の水準を平均二十五パーセントアップさせる改善を図ることと致しました。また、五周年ごとに発行し

て参りました「海難遺児と母の文集」を今年度も刊行することと致しております。

また、経済情勢及び漁業を取り巻く環境の厳しい折ではありますが、教育費の増高、低金利の下で育英事業の改善、更なる充実を図りつつ安定的に育英事業を推進するため、本年度から五年計画で実施しております「第八期漁船海難遺児育英会募金運動」に一層のご支援を賜りますようお願い致します。

最後に、奨学生の皆様におかれましては、就学に困難を来さないようにと、多くの方々から長年に亘りご支援を頂いておりますことを肝に命じ、学業に専念されますようお願い致します。

終わりに、皆様方の尚一層のご健康とご発展を祈念致しまして、本育英会設立三十周年のご挨拶とさせていただきます。



漁船海難遺児を励ます全国協議会  
 会長 植村正治

「漁船海難遺児育英会」設立三十周年を迎えるにあたり、一言お祝いを申し上げますとともに、これまで、相互扶助の精神により、かつて私たちの仲間であった人々の遺児を励ましていただきました多くの方々のご尽力に対し、心より感謝申し上げます。

思い起こせば、育英会設立の一年前、私どもの「漁船海難遺児を励ます全国協議会」は漁船海難遺児を経済的・精神的に援助する運動の一環として、育英事業の実現を図ることを目的に設置されました。その後、各都道府県に地方協議会が設置され、中央の水産関係団体とともに募金運動やチャリティ活動を実施してまいりました。

ご承知の通り、平成八年の国連海洋法条約の批准により、わが国は本格的な二百海里時代を迎えるにあたり、今後の水産基本政策の指針ともなる水産基本法が来春の通常国会に提出されようとしております。また、同時に水産基本政策の改革がまさに進められようとしております。

平成十二年度から第八期募金運動を展開し、育英事業のさらなる充実を図るため、平成六年以来据え置きとなつ

## 三十周年を迎えて



全国漁協婦人部連絡協議会  
 会長理事 北崎初恵

（財）漁船海難遺児育英会、設立三十周年を迎えるにあたり、一言お祝い申し上げます。

昭和四十年マリアナ諸島における鰹釣り漁船の集団遭難事故により、尊い二〇〇名余の働き盛りの漁船員の命が一瞬にしてうばわれました。そのため大勢の子供たちが海難遺児としてと残り残されました。この事故がきっかけとなり漁業者の間に、この多くの遺児たちを励まそうという全国運動が起こ

つたのが漁船海難遺児育英会設立の端緒になったと記憶しております。私達、全漁協連は、育英会設立前からその趣旨に賛同し昭和四十四年に「漁船海難遺児を励ます全国協議会」のメンバーになるとともに積極的に育英会の設立のための運動に協力いたしました。この運動は、当時としては画期的なものであり、海難事故により、かけがえのない父親を亡くした子供たちを精神的、経済的に励ます手づくりの活動

全漁協連では、漁協婦人部自らの運動として、昭和六十一年度から「漁船海難遺児を励ます運動」に取り組み、「漁村婦人一人一日一円募金運動」を展開して参りました。現在では漁船海難遺児を励ますための「漁村女性一人一日十円募金運動」として活動しております。

先日の北海道での底引網漁船の転覆事故の例をひくまでもなく、事故は幾度となく繰り返して起きております。一

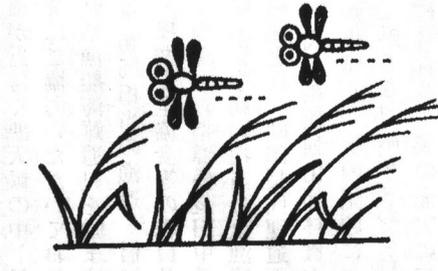
ている船と水難の引き上げ、コンピュータ化によるサービスの改善に向け、スタートしております。

このような中、本年九月十一日午前発生した北海道浦河での沖合底引網漁船の転覆事故をはじめとして、漁船の海難事故は一向に後を断たず、尊い命が失われております。救命衣の着用等海難防止対策・労働災害防止対策がより一層重要な課題であります。

当協議会といたしましては、今後とも奨学生がより勉学に励まれる環境づくりを目指し、水産関係者が力を合わせて、一層の努力を続ける所存です。で、あらためて皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、漁業者の皆様には、くれぐれも事故には十分注意され漁を営んでいただきますようお願い申し上げます。また、不幸にして一家の大黒柱を無くされましたお母さんやご子弟の方々には、健康に留意され幸せにお過ごしいただきますよう祈念いたします。

家の大黒柱を失い、残された家族、とりわけ子供達が健やかに成長し明るい未来へと羽ばたくことを願うものでございます。そのためには「漁船海難遺児育英会」が果たす役割は大きいものがあります。水産基本法が、来春の通常国会に提出されようとしておりますことから、従来にも増して国民からご理解を深めていただき、育英事業が更に充実されますことを期待するものでございます。



# 産経福祉の

## 船に参加して

毎年、夏休みにふれあいの旅をプレゼントする産経新聞「福祉の船」(産経新聞社及び産経新聞大阪新聞厚生文化事業団、各県産経新聞販売店主催)が、今年も平成十二年八月四日から六日までの三日間開催されました。

この産経新聞「福祉の船」は、交通事故や海難事故等で親をなくした子供達を励まそうと始められた福祉事業で、東日本在住の小学校六年生の子供達とその保護者を対象に実施されています。

二十二回を数える今年は、「夢いっぱいの子供たち」をメインテーマとし、東京デイズニerlandでの遊園、産経新聞浦安センターやJAS・機体整備工場の見学などが日程に組み込まれました。

本会からも二組の親子が参加され、たくさん旅の思い出を持って帰ってきたようです。



福島県相馬市  
中村第二小学校六年

持 館 和 美

二泊三日でサンケイ福祉の船に参加しました。

初日は、サンケイ新聞社を見学しました。新聞がどうやってできるか興味がありました。実際に見学してみると、何もかもが、コンピュータで少数の人で新聞を作っていました。機械が大きいのもびっくりしました。夜は、夕食歓迎会で、食べたことのない料理がたくさんあり、私はおなかいっぱい食べました。そのときとなりいた神奈川県愛知のときと仲よくなりました。

二日目は、朝からデイズニerlandで、私は福島県の白河から来た小松礼佳ちゃん遊びました。暑さと人の多い事で二人でおどろいていました。

三日目は、飛行場見学です。飛行機に乗ったことは一度もありません。

飛行機を目の前で見たのも初めてです。スチュワーデスやパイロットの人たちは、かっこいい人だなあと思っていました。でもその人たちが安心して、飛行機に乗って仕事ができるのも整備員をしてくれる影の人たちのおかげです。

この三日間でたくさん勉強になりました。たくさん物知りにもなりました。そして、新しい友達もできました。

友達ができることが一番の夏休みの思い出です。

私のように、お父さんがいなくても明るくてすばらしい人たちがばかりでした。今回の思い出を、大切に又一生けんめい、勉強に運動にがんばりたいです。



千葉県香取郡東庄町  
笹川小学校六年

飯 田 麻 依

### 福祉の船の思い出

福祉の船での一番の思い出は、東京デイズニerlandです。乗り物にもたくさん乗れて、楽しかったです。最後のパレードと花火は、最高でした。

二番目の思い出は、友達ができ、バス席がとなりだったことに、最後の日に、住所を覚えてもらいました。

県外にも、友達ができ、すごくうれしかったです。

三番目の思い出は、夕食会です。クイズやげきなどがあって楽しかったです。

## 木之元亮さんと 募金活動

去る七月十三日、ホテル日航東京(港区台場)において、「平成十二年度漁協共済推進・表彰大会」が全国各地の関係者ら五〇〇人を集め開催され、俳優・木之元亮さんと本会職員による募金活動が行われました。

皆さんもご存じの通り、木之元亮さんは、「ウルトラマンダイナ」や「目撃!ドキュン」のリポーター等、多くのテレビ番組で活躍されている俳優さんですが、ご自身が北海道釧路市の漁村出身で、ご親戚を海難事故で亡くされていることもあり、長い間、この大会で募金活動のお手伝いをしていただいております。

この日は、ファミリーミュージカル「シンドバットの冒険」の稽古の間をぬって会場まで駆け付けてくださり、役作りのため、顔にはやされた髭を気にされながらも、その暖かい人柄と積極的な呼び掛けに、来場者の方々から多くのご支援を賜ることができました。

木之元亮さんをはじめ、共水連・漁連・漁協共済推進センター等関係者の方々、また、ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。



## 平成十二年度 全国担当者会議を開催

去る七月七日、東京都千代田区コピルにおいて、「平成十二年度全国育英事業事務担当者会議」が開催されました。



当日は台風が近づく悪天候の中、日頃、育英事業にご協力いただいております各都道府県漁船海難遺児を励ます地方協議会事務局担当の漁連・信漁連・指導連・操業安全協会等の職員並びに水産庁企画課調査指導係長田中秀水氏、全国協議会事務局担当の全漁連漁政部長宮原邦之氏、同部長代理道下義明氏、組織強化部林貴宏氏が出席し、次の議題について熱心な討議が交わされ、今後も育英事業の充実に努めることを確認し合い、会議を終了しました。

- 一、「平成十一年度事業報告」及び「平成十二年度事業計画」について(育英事業、事業収支、寄付金、及び育英事業推進活動等)
- 二、学資給与規程の一部改正について
- 三、事務の合理化について
- 四、学資給与・奨学金貸与事業の事務手続きについて(育英事業の現状等)

## 平成十二年度 第二回理事会・評議員会開催

去る九月二十一日、平成十二年度第二回理事会・評議員会が開催され、平成十二年度事業計画の変更及び平成十三年度日本財団助成金交付申請について承認されました。平成十二年度の事業計画の変更については、今年度第一回理事会・評議員会で可決された学資給与金を増額する学資給与規程の一部改正案が、六月二十三日付けで文部・農林水産大臣の承認を得、今年度四月一日に遡って適用されることとなったので本年度事業計画を変更したものです。

さらに、理事・評議員の辞任に伴い、理事に高木清文氏(全日本中学校長会会長)、平瀬貞文氏(漁船船主労務協合理事長)、水谷弘氏(全国高等学校長協会会長)及び三宅哲夫氏(漁船保険中央会専務理事)の四名、評議員に鈴木一喜氏(神奈川県信用漁業協同組合連合会代表理事会長)、上濱喜男氏(石川県漁業協同組合連合会代表理事会長)、川端勲氏(長崎県漁業協同組合連合会代表理事会長)、荒川修次氏(漁船船主労務協会事務局長)及び井道雄氏(全国連合小学校会事務局長)の五名が選任されました。

また、現在、高等学校等に入学した場合、新たに、「高等学校等奨学生願書」を提出し、奨学生として採用されることになっておりますが、今回学資

### 保護者からのお便り

**\*学資給与金を送って頂き大変感謝しております。**最初の頃は何故子供達がこんな立場になったのかと海難遺児という文字の封筒が届くのもつらく涙しました。私達家族だけが不幸だと思ひ涙にくれ、ただ月日だけが過ぎていくようでした。

それでも定期的に届くお便りで励まされ、自分達だけじゃない、みんな言葉にできないくらい思ひをしてるんだと思えるようになりました。

まだ、夫の死と向き合うことはできませんけれど、これから先同じ立場のみなさんのお便りで泣いたり、励まされたりして頑張っていければと思ひます。

これからも宜しくお願い致します。

**(青森県 高橋美津子)**

\*いつもありがとうございます。早いもので八月で五年が過ぎました。この月は、事故の事を思い出したりして沈みがちになりますが、子供達の笑顔が私の心を救ってくれます。「このまま子供達がすくすくと成長できますように。」と天国の主人に話しました。

**(宮城県 小山祐子)**

\*送金ありがとうございます。下の子が女の子なので仏壇に花や果物・生菓子などをそえていると手伝いをするようになりました。お墓の掃除も一緒にしてくれるようになり、いつのまにかたよりになる娘になってくれました。

**(宮城県 鈴木みえ子)**

\*毎日暑くて真っ黒になってお盆休みを過ぎました。親子共々元気にがんばっております。今回も送金ありがとうございます。

**(宮城県 渡邊房子)**

\*いつも送金ありがとうございます。今年の夏はとも暑く、早く秋がこないかと思うこの頃です。娘も夏バテで三日間三十九度の熱を出し、寝込んでしまいました。

**(福島県 松本美栄子)**

\*主人が事故にあつてから早いもので

四十四年が過ぎてしまいました。子供達(男の子二人)も父親のいない家庭で育ちましたが、横道にもそれず、ふつうに育ってくれました事を喜んでおります。今では、それぞれ家庭を築き、子供も出来ました。私はもうすっかりおばあちゃんです。今までは、子育てと生活でまわりや、うしろを見るよゆうもありませんでしたが、これからは少しゆつくりと一日一日を過ごして行きたいと思ひますが、どうなる事か。でも、うしろは見ない事にします。

今月の十七日に雲崎にお墓参りに行こうかと思っております。主人は海

**(長崎県 松永好江)**

\*今年も無事にお盆を迎える事ができました。この時期はどうしても気分が落ち込みがちですが、二人の息子の顔を見ながら頑張っています。又、この度は支給金が上がり大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

**(大分県 上野富美子)**

\*高校生最後の夏休み、バイトにあげくれた夏でした。働く事の苦しさ、楽しさ、少しずつでもわかって来たでしょう。これからは、就職・進学共に頑張っていってほしいだけです。学資金いつもありがとうございます。本当に助かります。



**(大分県 盛口敏子)**

寄付者からのお便り

\*私も今春から社会人。自分で汗して働いて得るお金の有難さを味わっています。

**(埼玉県 松本安裕)**

\*今日も北海道で漁船事故。一人でも多く助かるようにと祈ります。父と兄を海で亡くしたので辛いニュースです。

**(東京都 磯田ムツ)**

\*いつもありがとうございます。今年八月、七回忌をしました。この六年あつという間に過ぎて行つたように思ひます。これからもよろしくお便り致します。

**(東京都 西崎弘美)**

\*中学での夏休み、毎日のクラブ活動に元気で子供達は通っています。先日、機会があり、「パーフェクトストーム」

### 第五十二回 全国漁港大会開催

平成十二年九月二十六日、(社)全国漁港協会(坂井淳会長)主催による「第五十二回全国漁港大会」が、新潟市産業振興センターにて、全国の漁業関係者約二八五〇人を集め、盛大に執り行われました。

当日は、日頃から育英事業の窓口としてお世話になっております新潟県指導協会及び漁協婦人部の方々を中心に会場内や入り口で募金活動が行われ、参加者の皆様から多大なるご支援をいただきました。

(社)全国漁港協会をはじめ、大会関係者のご協力に深く感謝申し上げます。

\*当日、「水色の羽根」の不足により、ご寄付いただきました多くの皆様に変えて迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。

### 平成十二年度 第二回選考委員会

去る平成十二年七月二十七日、平成十二年度第二回選考委員会が開催され、『第二回奨学生出願者(平成十二年七月十五日締切り)の選考』について審議されました。この結果、幼稚園・小中学校在学の学資給与奨学生三名、高校等在学の学資給与奨学生三名(うち、高校等奨与奨学生の併願一名)、大学等在学の貸与奨学生二名、合計九名(実質八名)の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた平成十二年九月末日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」とおりですのでご覧ください。

### 寄付(募金)のお願い

本会の育英資金は、多くの善意の方々から寄せられた寄付金で基金をつくり、その運用益で賄っております。基金は未だ十分とはいえないため、多くの方のご協力をお願いしております。

**◎送金方法**

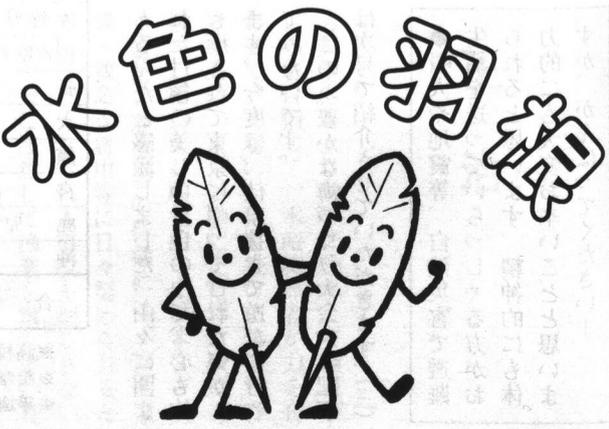
郵便局及び本会の指定する金融機関にお振込みの際、本会の振込用紙をご利用いただければ、振込手数料は免除になります。ご連絡ください。

**◎郵便振替口座**

口座番号 〇〇一五〇一七一一三二一七五

口座名義 財団法人 漁船海難遺児育英会

また、高校・大学等奨学生に貸与する奨学金をある期間、定期的にご支援いただく、「励ましおじさん・おばさん」のご加入もお願いしております。ご希望の方はお問い合わせください。



「育英会だより」の原稿をお待ちしています

◎題材は自由です。最近の出来事や、詩、随筆、奨学生への励まし、「育英会だより」に対するご意見、ご要望をお寄せください。

原稿は八百字以内で、顔写真を添えて本会へお送りください。

◎イラスト、写真もお待ちしております。

◎原稿は、随時受け付けております。掲載の方には、図書券を贈呈します。

**寄付・育英事業・育英会だより等のお問い合わせ先**

〒一〇一〇〇四七  
東京都千代田区内神田二二二一  
鎌倉河津ビル内  
漁船海難遺児育英会

TEL 〇三三三二五六一九八一  
(午前九時から午後五時まで)

FAX 〇三三三二五六一九八一  
(二十四時間受付)

### 第四回願書 受付締切日 平成十三年一月十五日

平成十三年一月十五日

励ましおじさん・おばさん

『申し込み・奨学資金の二寄付』のお礼

平成十二年六月から八月までの間に、お申し込みをいただいた方々の芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名(敬称略)

- (六月)▽小川宏一・新規(柏市)▽三上恵里・継続(柏市)▽森安良・継続(三郷市)
(七月)▽(株)丸吉―取締役社長長川村嘉造・継続(八戸市)▽福田昌佳・継続(千葉市中央区)▽中村晃次・継続(日野市)
(八月)▽三東治男・新規(鎌倉市)▽釜田朝・継続(佐倉市)▽森屋松吉・新規(練馬区)

育英基金

『募金・二寄付』のお礼

平成十二年六月から八月までに寄付をいただいた方々のご芳名を掲げ、そのご芳志に厚くお礼申し上げます。

※ご芳名(敬称略)

- 一、漁協系統募金(各都道府県の漁連、信漁連、指導連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会(略称・地方協)等」等取り扱った分、一般寄付金を含みます。
(六月)◎静岡県▽中島音楽事務所・募金箱◎三重県▽三重県水産振興事業団▽長井治郎/國弘一香典返し▽布施田海女組合▽地方協◎兵庫県▽地方協◎和歌山県▽中西文市◎山口県▽荒川正治▽下関ふく連盟 会長山田好章▽秋社会福祉協議会▽山口県漁協青壮年部連合会◎福岡県▽葦島漁業協同組合青年部▽共水連県事務所▽地方協◎長崎県▽(有)宝生水産▽大坪鷹子▽長崎県漁青連OB会▽中村信幸▽中山良夫◎大分県▽漁協役員・水産会館職員親睦ゴルフコンペ▽伯洋海運(株)▽浜田輝喜

二、一般寄付

- (六月)◎宮城県▽横尾祥子(仙台市)◎埼玉県▽富元克昌(越谷市)◎千葉県▽飯村久子(野田市)◎東京都▽匿名(品川区)◎東京築地中央市場・福祉報徳会(中央区)▽(株)マリコット・サービス(中央区)▽石崎三輪子(板橋区)▽阪井光平(江戸川区)▽山崎直子(三鷹市)◎神奈川県▽南三千代(厚木市)◎石川県▽中川信幸(石川市)◎愛知県▽中野信一(名古屋市中東区)◎兵庫県▽大園哲男(姫路市)◎岡山県▽吉田厚子(笹岡市)◎広島県▽笹野理恵子(因島市)◎鹿児島県▽富元明(鹿児島市)
(七月)◎青森県▽大山チセ(八戸市)◎茨城県▽高澤日出夫/清子(つくば市)◎埼玉県▽富元克昌(越谷市)◎千葉県▽飯村久子(野田市)▽東京岩水同窓会 代表中坂幸蔵(流山市)◎東京都▽匿名(品川区)▽松本和義(大田区)▽称念寺(港区)▽漁協共済推進大会募金(港区)▽阪井光平(江戸川区)▽亀田静枝(町田市)▽嶋田洋一(多摩市)◎神奈川県▽神原克己(藤沢市)◎愛知県▽中野信一(名古屋市中東区)◎三重県▽三重県遠洋漁船船員組合(度会郡南勢町)―漁船同盟連絡協議会(度会郡南勢町)◎岡山県▽吉田厚子(笹岡市)

都道府県別奨学生数

(平成12年度9月末現在)

Table with columns for Prefecture, Type of Student (Scholarship/Gift), and Number of Students. Rows include all 47 prefectures and a total row.

編集後記

山口県▽シーサイドホテル宇部 代表西山富太(宇部市)◎京都府▽坂口守彦(宇治市)◎大分県▽大分海洋少年団ほか(大分市)―全日海大分事務所(宇治市)◎鹿児島県▽富元明(鹿児島市)

編集後記

先日、「豊かな海づくり大会」での募金活動のため、京都の網野町へ行って来ました。網野町へは、京都市から電車で約一時間半とかなりの長旅でしたが、途中の車窓からは、日本三景の

一つ「天橋立」も眺められ(残念ながら曇り空でしたが...)大変優雅な気分になることができました。2 網野町へ着いてなによりもビックリしたのは丹後の海の美しさです!日本海というとなぜか断崖絶壁の荒々しい海を想像していた私にとって(火曜サスペンス劇場の見すぎでしょうか?)旅館の窓から初めて目にした海は「目から鱗」というほどの驚きでした。鳴き砂でも有名な白い砂浜がどこまでも続き、波は穏やかで、水の色が沖へいくほど濃い青色へと変化していくのがわかり、まだまだこんなきれいな海が

あるんだと感激しました。山々に囲まれた丹後の美しい景色の中で、心も体も癒されて東京に帰ってこれた気がします。今度は、仕事抜きで遊びに行ってみたいです。 この「豊かな海づくり大会」の記事は次号で紹介させていただきます。(三)

◆噴火や地震等、自然災害で避難生活を送っていらっしゃる方がおられると思います。精神的にも体力的にも大変お辛いことと思いますが、がんばってください!